

パラグアイ内政・外交報告（2月分）
政治情勢

2018年3月作成

1 内政

（1）内相の交代

2日、レスカノ内相が国家情報機構の初代長官（大臣級）に就任し、後任の内務大臣にアリエル・マルティネス内務副大臣が任命された。

（2）カルテス大統領の上院議員選挙立候補に係る動き

ア 1～5日にかけて、選挙裁判所は次期総選挙の立候補者登録に係る異議申立を受け付けたところ、リベラル党及び左派連合を含む複数の野党が、カルテス大統領、アフアラ副大統領、ルゴ元統領及びドゥアルテ元大統領の上院選挙出馬に対する意義申立を提出した。これに対して、16日、首都選挙裁判所は右異議申立を棄却した。

イ 上記を受けて、19日、リベラル党を含む複数の野党は最高選挙裁判所に上訴したが、24日、最高選挙裁判所は首都選挙裁判所と同様、右異議申立を棄却した。

ウ 28日、リベラル党は、カルテス大統領及びドゥアルテ元大統領の上院議員選挙出馬は無効であるとの訴えを最高裁判所に提出した。

（3）誘拐被害者の解放

5日、パラグアイ国民軍（EPP）は、メノナイト系の誘拐被害者2名を解放した。EPPによる誘拐被害者は2名となった。

（4）2018年総選挙

19日、4月22日の総選挙に向けた選挙運動が解禁された。

2 外交

（1）EU選挙監視団の派遣

6日、パラグアイ選挙裁判所と在パラグアイEU代表部は、次期総選挙へのEUからの監視団派遣に係る文書に署名した。

（2）台湾地震に係る政府声明発出

7日、当国政府は台湾地震に係る外務省プレスリリースを発出し、台湾国民及び政府への連帯を表明した。

（3）ロシアとの政策対話

20日、ゴンサレス筆頭外務副大臣は駐パラグアイ露大使と会談し、3月末にモスクワで二国間政策対話を実施することを確認した。

（4）メルコスール・EU自由貿易協定

21日、アスンシオンにおいて、メルコスール・EU間の自由貿易協定締結に向けた交渉が開始された。

(5) 政府間水路委員会議長国就任

22日、パラグアイは、パラグアイ川・パラナ川に関する政府間水路委員会の議長国に就任した。同委員会の加盟国は、亜、ボリビア、伯、パラグアイ、ウルグアイの5カ国。

3 要人往来

(1) 往訪

- モリニゴ厚生相、米国訪問（米州保健機構事務局長就任式）
- レイテ商工相、伯サンパウロ訪問（商業ミッション）
- レイテ商工相、オマーン、カタール訪問（商業ミッション）
- モリニゴ厚生相、ペルー訪問（アンデス地域保健機構閣僚会合）
- ヒメネス財相、UAE 訪問（中南米グローバル・ビジネス・フォーラム（GBF））